

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	神奈川県
-------	------

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	城山町立広田小学校								
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	2	2	2	2	2	14	19
児童数	51	60	65	59	62	46	2	345	

研究の概要

1. 研究主題

<p>「学びの楽しさ・喜びを追究する子」の育成をめざして ～一人ひとりの確かな学力向上のための工夫・改善～</p>

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

<p>全学年・算数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校で取り組むことにより、全職員の意識の高揚につながり、指導方法や指導体制の工夫改善が図られていくと考えたため。 ・児童の理解の状況に差が出やすい教科であるため。 ・教科学習の中で基礎・基本の積み上げがもっとも大切な教科であるため。

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ「学びの楽しさ・喜びを追究する子」の育成をめざして 研究の見通し 「確かな学力」のとらえを明確にし、それぞれの力を高める場の設定と個に応じた指導方法や指導体制を工夫改善することによって児童の学習意欲も高まり、基礎・基本の内容の定着が図られると考える。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「確かな学力」と「生きる力」とのかかわりについての共通理解を図る。 ・基礎・基本の定着のための個に応じた指導方法の工夫改善を図る。 ・家庭・地域との連携した指導に努める。 ・授業研究を通して、教材の工夫や個に応じた授業形態・指導体制の工夫を図る。
--------	---

平成16年度	<p>テーマ「学びの楽しさ・喜びを追究する子」の育成をめざして 研究の見通し 一年目の課題をもとに、さらに学習環境を整備したり、個に応じた授業実践や評価の工夫をすることにより、学びの楽しさや喜びを追究できると考える。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本の定着にかかわる学力や基本的な生活習慣等の実態調査や意識調査結果の分析をもとに、個に応じた指導のための教材開発や指導方法、指導体制の工夫改善を図る。 ・ボランティアティーチャーが参画する授業展開の工夫をする。 ・家庭・地域との連携した指導体制の整備をする。 ・研究のまとめをし、次年度への継続した取り組みができるようにする。
--------	--

(3) 研究推進体制

1. 学年団グループと以下の3つの専門部を設定し、内容によってそれぞれの組織を生かした研究推進と情報の共有化を図っていくようにした。

情報部

- ・主体的に学ぼうとする意欲・態度の育成に向けて（基本的な生活習慣等も含めて）
- ・学習についての意識調査の結果分析・その生かし方
- ・学習内容理解のテストの結果分析・その生かし方
- ・家庭・地域の協力、連携の仕方 等

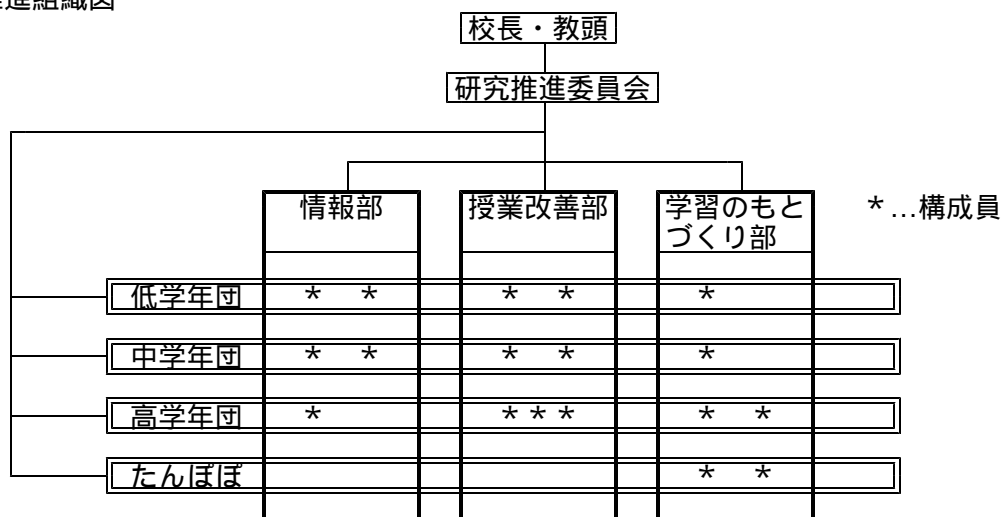
授業改善部

- ・個に応じた指導のための授業づくりの工夫
- ・学習過程の工夫
- ・補習・補充学習の場の設定
- ・ボランティアティーチャーの参画
- ・評価の工夫 等

学習のもとづくり部

- ・聞き、読み、書き、計算の具体的な内容
- ・学習のよとの深め方（朝の時間の活用）等

2. 研究推進組織図



平成15年度の研究の成果及び今後の課題

1. 研究の成果

「確かな学力」について、本校としてのとらえ方をまとめることができた。本校としての「確かな学力」のとらえをもとに、それぞれ場で共通理解を図った指導を行うことにより活発な情報交流も行われ、指導者の意識の高揚が図られている。児童一人ひとりの実態把握に努め、めざす児童像にむけて指導形態や教材の工夫を手がけることができた。

算数の学習過程の「かまえ」の段階で行っている『はじめの3分』（計算プリントの実施）は、学習への意識の切り替えや集中力をつける場として大変効果的である。また、1枚のプリントが全問正解になるまで毎時間繰り返し行うため、計算力の向上につながっている。

さらに、自分の力に合わせてどんどん進めるため、学習意欲の向上にもなっている。ボランティアティーチャーの参画は、分からないところをすぐに聞けたり問題解決できたことをすぐに確かめてもらえたりできることから、児童の学習意欲を高めている。そのため、習熟問題等へ取り組める量も増えている。

算数が好きと答えている児童は、少人数指導を行っている学年に特に多い。学習意欲と生活習慣のかかわりの大切さを踏まえ、実態調査結果の分析をもとに改善点を保護者に呼び掛けたり、校内での指導の仕方の徹底を図ることができた。

少人数指導や特設の時間のドリームタイムは、保護者にも喜ばれている。特に、ドリームタイムへの取り組みには、保護者の声かけが大きい児童もいる。

朝の時間の活用の仕方について、本校の特色ある取り組みのトップにあげている保護者が60%ほどいる。

広報活動をすることによって、取り組み内容について保護者の理解を得る一助となり、さらに広げ、深めるための意見も出されている。

2. 今後の課題

教材研究や打ち合わせの時間の確保に努め、児童がより意欲を持って取り組めるように教材開発にも力を入れていきたい。

日常の授業を教員相互で見合う機会を増やし、児童の反応をもとに授業展開について互いに練り合い、指導力を高める。

事前の児童の実態や学習内容によって少人数指導のコース編成の視点や意図を明確にし、単元構成や学習展開の工夫改善を図る。

ボランティアティーチャーの参画をふまえた学習展開の仕方をさらに研究する。

家庭・地域との連携を図った学習体制の確立をめざし、適切な情報提供をすると共にPTAなどの組織を生かした協力体制を求める。

「ドリームタイム」の時間の確保と指導体制の充実を図る。

丁寧なノートの取り方や考えの道筋が分かるようなノート指導も大切にしていきたい。

児童の変容を適切に見取るために、学力診断テストの結果分析や学習の振り返りカードについての検討も含め、評価活動について再検討し、実践につなげる。

個に応じた指導方法・指導体制の工夫改善をより図るため、全学年で少人数指導やTTの指導ができるようにしていきたい。そのために、教員の増員と柔軟な指導体制が望まれる。

学力等把握のための学校としての取り組み

1. アンケート調査

児童に対して

- ・調査目的 児童の生活や学習のようすについて実態を把握し、指導の方向性や指導体制を構築のための資料とする。
- ・実施内容 起床時間、就寝時間、睡眠時間、食事の取り方、テレビ・ゲームに費やす時間、家庭学習時間 等
- ・実施時期 平成15年9月

保護者に対して

- ・調査目的 家庭教育への取り組みの様子や学校教育に対する要望等を知ることにより改善点や今後の具体的方策を考える上での資料とする。
- ・実施内容 期待する児童像、家庭教育で特に力を入れていること、学校教育に対する要望等
- ・実施時期 平成15年9月

2. 興味関心や理解の様子等に関する自己評価

- ・調査目的 学習内容によって意欲の持ち方に違いがあるかどうかをつかむ。
- ・実施内容 算数と国語の学習内容についての興味関心・理解の様子・有用感
- ・実施時期 各学期末

3. 学力診断テスト

- ・調査目的 学習内容の定着の様子を把握し、個に応じた指導の工夫改善に役立てる。
- ・実施内容 算数・国語
- ・実施時期 平成15年12月

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

1. 津久井地区学力向上推進協議会

- 第1回
- ・日時 平成15年7月17日
 - ・場所 津久井合同庁舎
 - ・対象 推進委員
 - ・目的 研究の進捗状況の説明と研究の取り組みや成果の普及について情報交換や協議を通して円滑な実施を図る。
- 第2回
- ・日時 平成15年9月30日
 - ・場所 相模湖町立内郷中学校
 - ・対象 推進委員・津久井地区教職員
 - ・目的 TTや少人数の授業などを取り入れた効果的な指導方法や校内組織などの在り方について研修し、諸問題の解決をめざすと共に指導方法の改善・充実に努める。
- 第3回
- ・日時 平成15年1月16日
 - ・場所 津久井合同庁舎
 - ・対象 推進委員
 - ・目的 研究の進捗状況の説明と研究の取り組みや成果の普及について情報交換や協議を通して円滑な実施を図る。

2. フロンティアティーチャー研修会

- ・日時 平成15年9月30日
- ・場所 かながわ県民センター
- ・対象 フロンティアティーチャー、当該市町村教育委員会・7教育事務所指導主事
- ・目的 実践研究の取り組み状況に関する情報を交換し、成果の普及を図る。

3. 研究会

- ・日時 平成16年1月26日
- ・場所 城山町立広田小学校
- ・対象 津久井地区教職員
- ・目的 公開授業を行うことによって、指導法の改善・工夫に役立てる。

4. 保護者への説明会

- 第1回
- ・日時 平成15年7月3、4日
 - ・場所 城山町立広田小学校
 - ・対象 保護者
 - ・目的 研究の概要の説明と協力・依頼
- 第2回
- ・日時 平成15年9月11、12日
 - ・場所 城山町立広田小学校
 - ・対象 保護者
 - ・目的 取り組み内容の説明と協力・依頼

5. 保護者・地域へ向けての授業等の公開

- ・日時 平成15年10月6日～11日 8:30～15:40
- ・場所 城山町立広田小学校
- ・対象 保護者・地域の方
- ・目的 学校での諸活動を参観することにより、教育活動に対する理解を得る。

6. 家庭、地域への取り組み状況の普及

研究の概要について学校便りに載せ、家庭・地域に配布
研究の取り組み内容やそれに対しての児童の様子などを載せた校内研究便り「プロジェクト広田」を各家庭に配布

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

【新規校・継続校】	1 5年度からの新規校	1 4年度からの継続校		
【学校規模】	6学級以下 1 3～1 8学級 2 5学級以上	7～1 2学級 1 9～2 4学級		
【指導体制】	少人数指導 一部教科担任制	T・Tによる指導 その他		
【研究教科】	国語 生活 体育	社会 音楽 その他	算数 図画工作	理科 家庭
【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】		有		無